

(地 35)

平成16年5月21日

都道府県医師会

感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長

雪 下 國 雄

中国における重症急性呼吸器症候群（SARS）患者の発生に伴う対応の
終了について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、中国における重症急性呼吸器症候群（SARS）患者の発生に伴う対応に
ついての厚生労働省通知につきましては、平成16年4月28日付（地 15F）
をもってお送りしました。

今般、WHOから終息した旨が宣言されたことから、同通知による対応は終了す
ることとする旨の通知が、厚生労働省健康局結核感染症課長より、各都道府県衛生
主管部（局）長に対しなされました。

つきましては、本通知をお送りいたしますので、貴会におかれましても本件につ
いてご了知いただくとともに、貴会管下郡市区医師会等にご周知いただきますよう
よろしくお願い申し上げます。

健感発第 0519001 号
平成 16 年 5 月 19 日

各 { 都道府県
政令市
特別区 } 衛生主管部(局)長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長

中国における重症急性呼吸器症候群 (S A R S) 患者の
発生に伴う対応について

標記については、平成 16 年 4 月 27 日付け健感発第 0427001 号厚生労働省健康局結核感染症課長通知(参考 1)により対応いただいていたところですが、今般、別添のとおり W H O から終息した旨が宣言されたことから、中国における同通知による対応は終了していただくようお願いいたします。

貴職におかれましては、ご了知の上、貴管内の医師会、医療機関等の関係機関に対して、周知いただきますようお願いいたします。

なお、平成 15 年 5 月 19 日付各検疫所長宛事務連絡(参考 2)により、検疫所においても、中国からの入国者に対して通常の検疫体制をとることと致しましたことをお知らせいたします。



China's latest SARS outbreak has been contained, but biosafety concerns remain – Update 7

18 May 2004

It has been more than three weeks since the last case was placed in isolation in China's latest SARS outbreak, prompting the World Health Organization to declare that the chain of human-to-human transmission appears to have been broken.

However, WHO experts and the Chinese authorities are still trying to determine the exact cause of the outbreak. The investigation has centred primarily on the National Institute of Virology in Beijing where experiments using live and inactivated SARS coronavirus have been carried out. Two researchers at the Institute developed SARS in late March and mid-April. The outbreak was reported on April 22 and the Institute was closed a day later.

Preliminary findings in the investigation have yet to identify a single infectious source or single procedural error at the Institute – and it is conceivable that an exact answer may never be determined. Neither of the researchers is known to have directly conducted experiments using live SARS coronavirus. However, investigators have serious concerns about biosafety procedures at the Institute – including how and where procedures using SARS coronavirus were carried out, and how and where SARS coronavirus samples were stored.

WHO and Chinese authorities view with concern the occurrence of laboratory-associated SARS cases. WHO urges all Member States to view this latest outbreak as an opportunity to review the biosafety practices of institutions and laboratories working with SARS coronavirus.

During and after the SARS outbreak of 2003, a large number of specimens were collected from possible human cases, animals and the environment. These specimens, which may contain live SARS coronavirus, are still kept in various laboratories around the world. Some of them are stored in laboratories at an inappropriate containment level. SARS coronavirus has also been propagated in reference and research laboratories, and distributed to other laboratories for research purposes. Research using live and inactivated SARS coronavirus – and other pathogens capable of causing serious illness -- is being conducted in many laboratories.

WHO has issued the following laboratory safety guidelines and recommendations:

- WHO biosafety guidelines for handling of SARS specimens
(25 April 2003)
- Summary of the discussion and recommendations of the SARS laboratory workshop of 22 October 2003
- WHO post-outbreak biosafety guidelines for handling of SARS coronavirus specimens and cultures
(18 December 2003)

In these guidelines, WHO strongly recommends Biosafety Level 3 (BSL 3) as the minimum containment level to work with live SARS coronavirus. WHO also urges Member States to maintain a thorough inventory of laboratories working with and/or storing live SARS coronavirus and to ensure that necessary biosafety standards are in place.

WHO commends the Chinese authorities for taking swift action to contain the latest outbreak once it was recognized and reported, by way of extensive contact tracing and the quarantine and medical observation of such individuals. Once again, it has been demonstrated that SARS is a containable disease.

(参考1)

健感発第 0427001 号
平成 16 年 4 月 27 日

各 { 都道府県
政令市
特別区 } 衛生主管部(局)長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長

中国における重症急性呼吸器症候群(SARS)患者の
発生に伴う対応について

今般の中国におけるSARS患者等の発生状況を踏まえ、国内において、SARSに罹患している疑いのある者を早期に把握し、必要な対応を迅速かつ的確に実施するため、別途通知するまでの間、医療機関において下記のとおり対応いただくこととしたので、ご了知の上、貴管内の医師会、医療機関等の関係機関に対して、周知願います。

また、貴職においては、貴自治体でのSARSに関する検査体制を確認いただくようお願いします。

記

1. 発症前10日以内に中国への渡航歴があり、38度以上の急な発熱、咳、呼吸困難等、SARSが疑われる症状を示す者については、必要に応じて保健所等に連絡し、SARSを念頭に置いた検査(PCR法、LAMP法等)を実施すること。
2. 上記の検査でSARSと診断された場合には、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第12条に基づき、直ちに最寄りの保健所に届け出ること。
3. なお、PCR法、LAMP法等で陰性となった場合であっても、他の人への接触をなるべく避けて経過を観察し、発熱が持続する等、症状の改善がみられない場合には再検査を実施すること。

(参考 2)

事 務 連 絡
平成16年5月19日

各 検 疫 所 長 殿

検疫所業務管理室長

中国における重症急性呼吸器症候群 (SARS)患者等の
発生に伴う対応について

標記については、平成16年4月23日付事務連絡により対応をお願いしていたところですが、今般、WHOにより制圧宣言が出されたことから、中国からの入国者に対しても通常の検疫体制と致します。

なお、入国者の体温測定については、発熱性疾患のサーベイランスとして実施し、諸外国においてSARSが発生した際に速やかに体温測定の実施が可能となるように適宜継続するようお願いいたします。

WHO（世界保健機関）

中国の SARS 集団発生は封じ込められたが、バイオセーフティ上の懸念は残る - 更新 7

2004 年 5 月 18 日

中国でもっとも最近に起こった SARS 集団発生で最後の症例が隔離されてから 3 週間以上が経過したことから、WHO はヒトからヒトへの感染伝播の連鎖は断ち切られた模様と宣言した。

しかしながら、WHO の専門家と中国当局は引き続きこの集団発生の正確な原因の解明に努めている。調査はまず、生の不活化 SARS コロナウイルスを使った実験が行われていた、北京の国立ウイルス学研究所に集中して行われている。同研究所の研究員 2 名が 3 月下旬と 4 月中旬に SARS を発症した。これは 4 月 22 日に報告され、同研究所は翌日閉鎖された。

予備調査結果では、同研究所における感染源や実験過程の誤りはまだひとつも特定されておらず、明確な答えは永久に確定できないとも考えられる。どちらの研究者も生の SARS コロナウイルスを使った実験を直接行ってはいないことがわかっている。しかしながら、調査員らは同研究所のバイオセーフティ手順に重大な懸念を抱いている。それには、SARS コロナウイルスを用いる過程がどこでどのように行われたか、また SARS コロナウイルスの検体がどのような状態でどこに保管されていたかなどが含まれる。

WHO と中国当局は実験室関連の SARS 症例の発生を問題視している。WHO は全加盟国に対し、今回の発生を SARS コロナウイルスを用いた研究に取り組む機関や研究所のバイオセーフティ状況を見直す機会としてとらえるよう要請する。

2003 年の SARS 発生時とそれ以後に、疑いのあるヒト、動物、および環境から多くの検体が集められた。生の SARS コロナウイルスが含まれている可能性のあるこれらの検体は、今も世界中の様々な研究所に保管されている。なかには不適切な封じ込めレベルの研究所に保管されているものもある。また、SARS コロナウイルスは解析や研究を行う機関で増殖され、研究目的で他の研究所へ配布もされている。生の不活化 SARS コロナウイルス、および重篤な疾病を招きうる他の病原体を使った研究は、現在多くの研究所で実施されている。

WHO では以下の研究所安全指針と勧告を公表している。

WHO SARS 検体の取扱いに関するバイオセーフティ指針（2003 年 4 月 25 日）

2003 年 10 月 22 日の SARS 研究所ワークショップの討議と勧告（要旨）

WHO SARS コロナウイルスの検体と培養物の取扱いに関する発生後のバイオセーフティ指針（2003 年 12 月 18 日）

これらの指針では、バイオセーフティレベル 3（BSL 3）が生 SARS コロナウイルスを扱うための最低封じ込めレベルとして強く推奨されている。また WHO は加盟国に対し、生の SARS コロナウイルスを使用または保管している研究所の完全な一覧を保持し、必要なバイオセーフティ基準の整備を徹底するよう要請している。

WHO は、今回の集団発生が認められ、報告されてから、中国当局が徹底した接触者追跡調査やそれら接触者の隔離と医学的観察といった迅速な封じ込め措置をとったことを評価する。改めて、SARS は封じ込め可能な疾病であることが実証された。

（日本医師会国際課仮訳）